

藤田真央 ピアノ・リサイタル

世界最高峰「チャイコフスキー国際コンクール2019」第2位の快挙。
若き天才ピアニストが名演奏家の舞台に2年ぶりの凱旋公演!!

9/15 (火) 18:45開演

三井住友海上 しらかわホール

【Lコード】 45941

入場料 S席¥5,000 A席¥4,000(全席指定・税込)

◆Program(予定)

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第13番「幻想曲風ソナタ」変イ長調 Op.27-1
チャイコフスキー:ロマンス へ短調 Op.5
チャイコフスキー:ドゥムカ ハ短調 -ロシアの農村風景- Op.59
アルカン:「短調による12の練習曲」から 第12番「イソップの饗宴」ホ短調 Op. 39-12
ショパン:幻想曲 へ短調 Op.49
ショパン:ポロネーズ第7番「幻想」変イ長調 Op.61
シューベルト:「さすらい人幻想曲」ハ長調 Op.15 D.760



©EIICHI IKEDA

佐藤晴真 チェロ・リサイタル

最難関「ミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門」で日本人初優勝!
名古屋で生まれ世界を驚かせた期待のチェリストがついに登場。

10/23 (金) 18:45開演

電気文化会館
ザコンサートホール 【Lコード】 45943

入場料 ¥4,000(全席指定・税込)

◆Program(予定)

ショスタコーヴィチ:チェロとピアノのためのソナタ ニ短調 Op.40
ロストロポーヴィチ:ユーモレスク Op.5
ブリテン:チェロとピアノのためのソナタ ハ長調 Op.65



©ヒダキトモ

大伏啓太(ピアノ)



YAMATO String Quartet 弦楽四重奏コンサート

石田泰尚(ヴァイオリン) 執行恒宏(ヴァイオリン) 榎戸崇浩(ヴィオラ) 阪田宏彰(チェロ)

クラシックからモダンまで枠にとらわれない演奏で大人気!!
鬼才のヴァイオリニスト・石田泰尚らによる異色のアンサンブル。

12/10 (木) 18:45開演

電気文化会館
ザコンサートホール

【Lコード】 45944

入場料 ¥4,800(全席指定・税込)

◆Program(予定)

ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第11番 Op.95「セリオソ」
伊福部昭:ゴジラ
ビートルズメドレー
レッド・ツェッペリン:カシミール
クイーン:ボヘミアン・ラブソディ
キング・クリムゾン:21世紀のスキッツォイドマン



感染症予防対策として座席制限やお客様の入場時等にお願いがございます。
くわしくはホームページ(<https://hicbc.com/event/series2020/>)をご覧ください。



一般発売 8月1日(土)予定

チケットのお取扱い

※各プレイガイドの営業状況はホームページや電話等でご確認ください。

アイ・チケット ☎0570-00-5310

アイ・チケット web

ローソンチケット <https://l-tike.com>

しらかわホール ☎052-222-7117(9/15公演のみ)

イープラス <https://eplus.jp>

芸文プレイガイド ☎052-972-0430

※新型コロナウイルス感染拡大状況により公演が延期または中止になる場合がございます。※やむを得ない事情で公演内容・出演者など変更になる場合がございます。※未就学児のご入場は、ご同伴の場合でもお断りいたします。
※車いすにてご来場のお客様は、チケットを付き添いの方の分も含めお買い求めください。お買い求め後、CBCテレビ事業部052-241-8118(平日10時~18時)まで事前にお電話ください。

藤田真央 (ピアノ)

Mao Fujita

2019年6月チャイコフスキー国際コンクールで第2位を受賞。聴衆から熱狂的に支持され、ネット配信を通じて世界中に注目された。ガラ公演では、ワレリー・ゲルギエフ指揮マリンスキー歌劇場管弦楽団と共演、喝采を浴びたことは記憶に新しい。2019/2020シーズンは、ロンドン・デビュー公演が『The Times』紙で大絶賛された他、ミュンヘン、モスクワ、 Санктペテルブルグ、ソウルなどでもデビュー。国内では、2019年12月ゲルギエフ指揮マリンスキー歌劇場管弦楽団日本公演で、急な代役としてチャイコフスキー：ピアノ協奏曲第2番を演奏。初めての演奏にも関わらず、瑞々しい音色、豊かな抒情性、類まれな音楽センスで、多くの聴衆を魅了。リサイタルも全国各地で完売が続くなど、音楽的評価とともに注目度も高い。話題の映画『蜜蜂と遠雷』では風間塵役の演奏を担当。『題名のない音楽会』『報道ステーション』などメディア出演も多い。最新CDは10月にリリースされた『ショパン：スケルツォ/即興曲』。1998年東京生まれ。2017年にはわずか18歳で、第27回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールで優勝。2016年には、故中村紘子氏が最後に音楽監督を務めた浜松国際ピアノアカデミーコンクールで第1位に輝くなど、国内外での受賞を重ねている。ロームミュージックファンデーション奨学生。江副記念リクルート財団第49回奨学生。2020年、第21回ホテルオークラ音楽賞、第30回出光音楽賞受賞。名演奏家シリーズには2018年以来2年ぶりの出演。



©EIICHI IKEDA

佐藤晴真 (チェロ)

Haruma Sato

2019年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。2018年には、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第1位および特別賞を受賞している。1998年名古屋出身で、現在その将来が最も期待される22歳の新進気鋭のチェロ奏者。第67回全日本学生音楽コンクールチェロ部門高校の部第1位および日本放送協会賞、第83回日本音楽コンクールチェロ部門第1位および徳永賞・黒柳賞など、多数の受賞歴を誇る。すでに国内外のオーケストラと共演を重ねており、「サントリーホールCMGオンライン」など室内楽にも積極的に活動している。2018年8月には、ワルシャワにて「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に出演。2019年12月には、本格デビューとなるリサイタル公演を成功させる。2020年は、プラハ放送交響楽団、日本フィル、新日本フィル、東京フィルなど国内外のオーケストラに招かれており、リサイタルも予定されている。2016年度東京藝術大学宗次特待奨学生。2018年度ロームミュージックファンデーション奨学生。2019年度第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、2020年第30回出光音楽賞受賞。ベルリン在住。(2020年7月現在)



©ヒダキトモコ

YAMATO String Quartet (ヤマトストリングカルテット/弦楽四重奏)

石田泰尚(ヴァイオリン) 執行恒宏(ヴァイオリン) 榎戸崇浩(ヴィオラ) 阪田宏彰(チェロ)

1994年に結成され、松尾学術財団の特別奨励金を得て活動を開始。秋田県大曲市新人音楽祭グランプリ・大阪国際室内楽コンクール入選など受賞歴を重ねる。弦楽四重奏の魅力を伝えるという目標を掲げ、通常の弦楽四重奏とは一線を画す活動を始める。活動初期は、世界初録音となるCD「山田耕筰 室内楽全集」や「日本民謡全集」などで日本音楽のスペシャリストとして活躍した。近年は近藤和明氏のアレンジを武器に、多様な音楽を弦楽四重奏の普遍的なレパートリーに昇華することに成功している。現在は、膨大なピアノ作品や、ハードロックからプログレッシヴロックに至るエネルギッシュなステージを展開している。中でもジミ・ヘンドリクス、レッド・ツェッペリン、クイーンなど、ロックの王道を取り上げたプログラムは、ヴァイオリン石田泰尚の他に類を見ないプレイスタイルと合致し、新しい弦楽四重奏の世界を拓き続けている。結成25年を機に、作編曲に大島ミチル氏を迎え、新たな企画も進行中である。

